

DOKU-GAKU 掲示板

映画館へ行くのは30年ぶりになるという母親と一緒に
 ヨンさま主演で話題の映画「四月の雪」を観てきました。
 母親世代まで家から引っ張り出すヨンさま効果はほんとにたいしたものですよ。
 ホ・ジノ監督の静かなラブストーリーは
 四月に降る季節はずれの雪が別れた男女を再び引き寄せ、
 ふたりのそれから観た人たちそれぞれが想像する、そんな映画でした。
 母親が淡々としている映画に満足したかどうかはわかりませんが
 ヨンさまストラップのプレゼントには完全にご満悦でした(^_^;)

タツノオトシゴ

リレー連載「執筆者の素顔」(Tomy Jr. の巻)面白かったですよ！
 トップバッターが先制打者ホームラン(^_^) / ^ ですネ！写真が渋い！
 もう一人の私では、プラスチック粘土で作った恐竜、すばらしいセンスです。
 何気なく置いてあるが、色といい、バランスが Good！ですネッ
 でも、もう一人、隠しているでしょう！ほら！ステージでの“絶叫”を！！
 それにしても、この夏の暑い中、編集局の皆さんには感謝しています。
 Cacco さんの次回も、大いに楽しみです。どこまで見せてくれるでしょう。
 「ミスチルばがぼんど」のホワイトバンドは、私のところにも来ています。
 口の悪い仲間が、それって「リストラバンド？」とか「リストカット隠し？」
 なんて変な名前を考えてくれます。
 暑さ厳しき折、皆さん体調管理には気をつけましょう(^_^;)

TICA

バスターミナルの天井です。大きな地震が来たら
 ちょっと怖いって思うのは、関東人特有の地震に
 対する過剰反応？でも、こんな天井にするのにな
 んの意味があるんだろう？ここにもデザイナーが
 いないなあと北海道で思って来ました。



うさお

「34号の表紙」：画像的には色々なテクが使われており大変凝っているんですけど、**うさお**は個人的にはこのような配色、画質が嫌い。最近はこのようにざらっとした画質が流行っているらしいのだが、**うさお**の絵的には、はっきり、くっきりが好きだ。暗と明、鮮彩のものがそれ。油彩だったらそういうものを描くだらうなあ。最近はめっきり油彩なんか描かないけど、DOKUGAKU のロゴはその中でも最も手が入っているところだ。

「わたしの学習その2」：3年ほど前にも行った企画だったとか。**うさお**は覚えていないよ。でも、大人になってからのほうが皆さんお勉強をしたがるようで、しかもポテンシャルが高いみたい。凄いね。定期的に大学にレポートを書いたり、公演に備えておさらいをしたり、DOKUGAKU の原稿を書いたり、語学の習得をしたりと、ふふふ、脱帽です。**うさお**なんか DOKUGAKU は特に気を抜いているから、さらさらと書きなぐっちゃうので御免なさいなんだけど、やはり論文となると手抜きが出来ないから、徹夜をしたりして早く終わらないかなあって思っているよ。

「執筆者の素顔」：**Tomy Jr.**さんと **Cacco** のメールのやり取りから急遽生まれた新コーナー。これが半端じゃなく気合が入っている。ほぼ98%の出来栄え。後に続く人が追いつけない独走振りで、けへへ、面白えって代物です。つい、指名されてもいないのに、**うさお**なら何を見せようかとそわそわしちゃいました。エンターテナーの氏のこと、恐竜なんかの見せ場はちゃんと用意されていましたね。

「ご近所トマソン隊かなあ」：単なる自分の好きな処の紹介に成り下がっちゃったので、タイトルを変えちゃったよ。富津砲台や水道編はまだまともな廃墟マニアだったね。考えてみると、廃墟、廃線、産業遺跡、戦争遺跡マニアとごちゃ混ぜのものになっていました。最近ではザッピングって言葉が流行っているからナウいってばナウいね。
(古い！なあ)

「ご近所トマソン隊かなあ」 *Annex*：田谷の洞窟を下敷きに **TICA** さんの労作。洞窟内の摩崖仏ってほど仰々しいものじゃないけど、田谷と同じような色合いになるね。これも土丹（固い土、三浦層群とかね）を削ったものだからいつか崩れるね。その時はご一緒して直ぐ写真を撮りに行きましょう。どっちが先に洞窟に入るかは、じゃん拳で負けた方ね。

「のほほん万博漫遊記」：**由佳**ちゃんたち夫婦の感性は独特のものだ。中近東から南亜細亜にかけての仏教関連のものに異常な興味を示しているようだ。しかも只で仏具をくれないかって、宗教家らしからぬ煩惱まで匂わせる。**由佳**ちゃん大黒さんなのにやるのが大胆でのほほんだ。ヘナの刺青を見て、**由佳**ちゃん、ピチピチでいいな！絶対、桜井君の目が行っちゃうよなって羨ましがっていたのは **Cacco**。

「恋まつつま恋」：APBANK ものにミスチルファンと省吾ファンがコラボレートする貴重なもの。こんな炎天下に行かなくていいのにご苦労なことだ。特に省吾ファンの

方は省吾の T シャツで黒尽くめで出かけられた。二人とも帰ってこないんじゃないかと思ったよ。こういうパワーを欲しいと思うのは歳を取ったせいでしょうか。この二人がコンサートに行けたのは一人のいたいけな女性の犠牲の上に成り立っていることをゆめゆめ忘れてはならないぞ。彼女は失恋の痛手と？この炎天に嫌気が差し、せっかくのチケットを譲ったのだ。

「**ミスチルばかぼんど**」：このホワイトバンド、結構流行っているらしい。Web_site でこれを醤油で甘辛く煮付けて食すアイデアが書かれていて笑えたのだが、ミスチルファンはこれを真剣に怒るらしく、本気で糾弾していた。洒落じゃないねえ。

「**好奇心漫遊記**」：鳥君たちの観察日記は面白かったです。えっ、違いますう？違うってよ！（矛先さん：一部のラーメンズ・ファンに贈ります。）理科の不思議の中で、2) の光の話は、光はどんなものでも透過するって話を浜松フォトニクスという技術者から聞いたことがあります。鉄板でも光が透けて見えるのだとか。うっそーって感じでした。でも、その技術で色々な検査に用いられているとかの実例を示されると、「はあ〜すごい」でした。変な例えで申し訳ありませんが、子供のころ、洗面器に水を溜めて古くなった樟脳を浮かべて遊んだことはありませんか？樟脳からガスが出て水面を浮上するのと、あるテリトリィを確保して二つの樟脳は距離を保ちます。力の場が出来ているようにも見えます。

新幹線のトロリ線の電圧は交流 25,000V で 10mm 程度の直径の架線ですが、2.5m の範囲は感電エリアで近づけません。触ると跳ね飛ばされます。これを電子の力の場であると仮定すると 250 倍の大きさのエリアが反発をして通過できなくなるのでは…。って、こじ付けでしたね。

「**十七文字の抒情詩**」：すいません、宗匠。**うさお**は余り深く考えないで、見たまましか詠めません。この方面の感性（恋愛やらの人生経験が少ないことに起因しているのかもしれない）は本当に乏しいです。そのうち正岡子規のように読む人が勝手に情景を想像してくれるかもしれません。そうしたら偶然の名句が生まれてくるはずで、**うさお**はそう信じています。

「**心理学シリーズ**」：実はフロイト的理論はあまりよく判りません。判りませんが、**タツオト**さんが撮ってくる写真は好きです。これって結構、俳句の世界に通じる情感があるように思えます。恋愛などの人生経験が豊富なのかな？1 枚目の朽ちた砲台址、う〜ん、これに関するコメントがもっと欲しい。2 枚目の蔦の這う煉瓦建ての洋館、3 枚目のニケの像のような判らないもの、5 枚目のインクライン。これだけでもトマソン隊が 1 編書けちゃうよ。しかし、日本ですか、これ？

「**B 級気まま旅**」：今回**日出彦**さんはデジカメを忘れたのか、それとも携帯写真に妥協したのか。それは兎も角としても、もっと風景、風俗が見たいです。目を楽しませるものがやはり一番ですよ。情感を込めることも出来ますし。(°_°)チヨトコダリ
空知というと昔**日出彦**さんと出かけたとき、子供の月の輪熊がいて、おやつの西瓜

を与えられているのですが、これが丸ごとのため中身を食べることが出来ません。サーカスの熊よろしく、西瓜の上に乗るのですが体重が無いため割れもしません。くーくー鳴いていたのを思い出します。

「ビーズな毎日」：由佳ちゃんがお休みで、ピンチヒッターが **Cacco** だけど、あっ、ビーズ・マニア・フェスタってのに一緒に行ったってことね。しかしこのネーミングはすごいね。ビーズはマニアだったんだ。TICA さんはやっぱり相当オタクってこと？それにフェスタってのもねえ。ランドマークタワーの中で行っているんだから、借り賃だって半端なお値段じゃないでしょう。しかし、細い紐に小さな小さなビーズだけって作品も。(これにもビーズの技があるんですか?)

「表紙は語る」：まことしやかな四次元の解説。目から鱗でしたって、これ表紙は語るじゃなく、ミスチルCM史じゃありませんか。だったら綺麗どころで綾瀬はるかさんを出してくださいな。

次回企画のお知らせです。

今回はめでたく6周年を迎えるので記念号恒例企画「**DG感想文**」です。

DGについて思うこと、今までやってきた感想などDGへの声を聞かせてください

次号で6周年を迎えるDOKU-GAKU。

めざせ10周年、届け100号!

ではDG6周年記念号をお楽しみに。

2005年10月1日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本

c's 工房 &

M's factory